

人口減少対策特別委員会委員長様

人口減少対策特別委員会委員 丸山章

人口減少の中でも豊かに暮らせる社会への取組についての提案書

日常生活(家庭)、職場、地域コミュニティ、不安のない社会制度、自然、伝統や歴史文化等、日々の暮らしの中で幸せを感じる事が豊かに暮らせる社会といえると思います。

すでに提案してあります対策 4 本柱の政策(施策)を推進することで、様々な波及・相乗効果が見込め、ひいては豊かに暮らせる社会に近づけるものと考えていますが、さらなる手立てとして、高齢者が安心して暮らせる施策を下記のとおり提案します。

記

〔事業名〕

(仮称) 郵便買物事業

〔要旨〕

今般、中山間地域はもとより中心市街地等でも高齢者世帯が増加しているうえ、運転免許証の返納が買い物弱者の増加に拍車をかけている。こうした状況に対処するべく、高齢者等の世帯が自宅で安心して生活できる環境に導くことを旨とする。

〔買物弱者の課題〕

- ・今後、高齢者の増加が予測できる場所は郊外の住宅団地等である。団地では同世代、同属性の市民が集住しているため、高齢化が急激に進行する可能性が高い。
- ・買物環境の悪化、コミュニティの希薄化等により一部市民が低栄養状態に陥ることも心配されるとともに、医療費や介護費の増加を招く可能性がある。

〔具体策〕

◇対象者(世帯)

- ・登録制とする。
- ・免許返納等に伴い、世帯で運転者がいない、車保有のない者(世帯)、戸建てでも別世帯になって車保有のない者(世帯)

◇委託団体

- ・各種団体(まちづくり振興会等)、郵便局、衣食住関連の商店(登録制)

◇ポスト設置

- ・半径 500m以内に

◇事業の流れ

- ・対象者(世帯)の注文書 → 郵便ポスト → 各種団体(まちづくり振興会等)が取りまとめ、発注 → 近くの衣食住関連の登録商店 → 対象者(世帯)に届ける。

◇対象者(世帯)の費用負担

- ・郵便買物事業登録者……会費 1,500 円/月

※算出根拠……燃料(ガソリン)代 $300 \text{ 円} \times 8 \text{ 回/週} \times 12 \text{ ヶ月}$
= 28,800 円

(10 km × 往復 = 20 km ガソリン 10 km/ℓ 走行
150 円/ℓ で往復 300 円)

※補助額 1/3

ただし、高収入世帯の補助は要検討